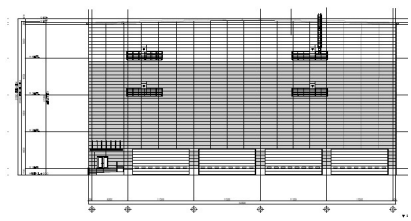


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久喜物流PJ	階数	地上4F
建設地	埼玉県久喜市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2022年12月27日
敷地面積	3,001 m <sup>2</sup>	作成者	永田良太
建築面積	1,558 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月27日
延床面積	6,140 m <sup>2</sup>	確認者	築田和幸



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> ・評価対象外	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。 ・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)久喜物流PJ**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>配慮項目</b>										
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.31</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.4</b>	0.15	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 室内騒音レベル</b>						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 遮音</b>						<b>4.2</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能:T-2				5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.4</b>	0.35	-	-	<b>2.4</b>
<b>2.1 室温制御</b>						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能						-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.50	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>						<b>1.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.8</b>	0.25	-	-	<b>3.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>						<b>4.2</b>	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率:2.5%以上				5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	-	-	
<b>3.3 照度</b>						<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		1作業単位以下で制御、端末スイッチで調整可能				<b>5.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.7</b>	0.25	-	-	<b>3.7</b>
<b>4.1 発生源対策</b>						<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00	-	-	
<b>4.2 換気</b>						<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上				5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.6</b>	0.40	-	-	<b>2.6</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>						<b>2.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応						2.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高:2.7m以上				4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33	-	-	
3 内装計画						3.0	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>						<b>3.3</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>						<b>2.8</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラス:Aクラス				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30		-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30		-	-	
1 階高のゆとり		階高:3.9m以上	5.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.3未満0.1以上	4.0	0.40		-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.39		-	-	<b>2.4</b>
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	-		-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-		-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-		-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = -	-	-		-	-	-
4 効率的運用			-	-		-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-		-	-	-
4.1 モニタリング			-	-		-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	-
集合住宅の評価			-	-		-	-	-
4.1 モニタリング			-	-		-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.50		-	-	<b>3.2</b>
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減		機械式継手等の採用	4.0	0.11		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.50		-	-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮			-	-		-	-	-
2 地域環境への配慮			3.0	0.50		-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		駐輪・駐車スペースを確保し車両出入時の混雑を避けた計画	5.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.50		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)久喜物流PJ	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.0	=	2.0
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

:入力欄